

授業科目名 (英文名)	Intensive English 2	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	2～4年次 前期集中
担当教員	山本 祐子	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	様々な社会活動をする際に、必要となる英語の総合的運用能力を高め、読む・聞く・話す・書くの4技能を、バランスよく使うことができるようになることを目的とする。		
講義内容・授業計画	<p>授業では、英語の音声を聞き取る、英文を読む、英語で表現する、等のスキルを向上させるために、様々な教材を用いて取り組む。英語の自主学習の方法を身につけることを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．授業内容の説明。映画の台詞配布（役決めと読み合わせ）。英語発音の基礎を説明 2．テキストUnit 8: Foreign Language and Self-Confidence. 短音節の英単語発音訓練(母音を中心に)。映画台詞の練習開始（以下より記述は省略するが、引き続き台詞練習は毎授業ごとに行うことにする）。 3．テキストUnit 8: Foreign Language and Self-Confidence. 短音節の英単語発音訓練（子音を中心に）。 4．テキスト 発音訓練復習。第1回発音課題テスト。 5．テキストUnit 10: Frame of Mind. 友人の体験談を集める。 6．テキストUnit 10: Frame of Mind. 英語で友人に聴き取りを行う。 7．聞き取った内容を英語でまとめて、発表。 8．Unit 12: Does it divide or Unite? 英語一文の朗読・リスニングする練習。 9．Unit 12: Does it divide or Unite? 英語物語を朗読・リスニングする練習。 10．リスニング総復習。朗読・リスニングの復習小テスト。 11．Unit 15: Sense of Reason. プレゼンテーション・スキルを磨く：好きな作品紹介をする。 12．Unit 15: Sense of Reason. プレゼンテーション・スキルを磨く：Ted Talk を真似る練習。 13．総復習、映画台詞発表のリハーサルと実演 14．テキスト筆記小テスト、プレゼンテーション・スキルを磨く：実際の発表練習 15．プレゼンテーション 		
テキスト	『Our Society, Our Diversity, Our Movies』 Joseph Tabolt, Koji Morinaga、金星堂		
参考文献			
成績評価の基準・方法	<p>日常的な社会活動において必要となる英語文や英会話を理解することができ、自分の考えを英語で記述することができるものに単位を授与する。</p> <p>講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、SらCまで成績を与える。</p> <p>レポート・小テストなどによる平常点40%、試験60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	少人数指導の為、40名程度を目安とする。 希望者多数の場合はランダム抽選を行う。		
実践的教育	該当しない		
備考			